

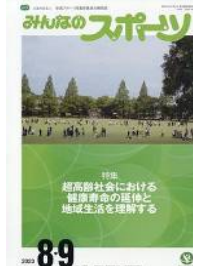
『みんなのスポーツ』8・9月合併号 (No.496) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の8・9月合併号は「**超高齢化社会における健康寿命の延伸と地域生活を理解する**」の特集号です。

私の視点にて今月号で気づいたこと・参考になる点を3点記載します。



1 「新任者研修最前線！」 山梨県の事例

次期リーダーが初任者に本当に伝えたいこと～自らテーマ設定し、自らの言葉で語る～について気づいたことを3つ記載致します。

- ① 「地域をつなぎ、地域をいかし、地域に元気を」この言葉は山梨県スポーツ推進委員協議会のスローガン、地域住民のために「こうしたい、ああしたい」という気持ちがふつふつと湧いてきたという文面を読むにつけてどうやらこういう気持ちになっていただけるか、市で新任研修会を行っているが、こういう気持ちの人がいることは肌で感じている。
- ② 新任研修会のやり方も県と市という違いはあるが、内容や進め方他にも考えて行く必要があるように感じている。そんな中今回のやり方は考えるきっかけ・ヒントにしていきたい。
- ③ 先日受講した神奈川県社会教育委員連絡会研修会でも上記①と同じような考え方が示され、愛川町の事例（学校運営協議会を中心に民生委員・青少年育成委員・PTA・スポーツ推進委員・社会福祉協議会など連携）が紹介された。事例は栃木大会で神奈川県として紹介される予定。

2 ペップトーク「神様は見ていた」

ペップトーク（勇気づけるまたは夢中にさせるトーク）のこのページは学びや気づきが多い、7月号に次いで今回も記載。みなさんは覚えておられますか？ 2019年夏の甲子園で花咲徳栄 Vs 明石商業のある一場面が、Youtubeで900万回近くも再生されている。インコース高めに入ってきたボールを前かがみになってよけようとした選手の背中にあたってしまいました。会場からは「デッドボールだ！」しかし、よけようとした選手は「デッドボールではありません、誤って前に避けたから僕のせいです」と審判だけでなく、投手にもベンチにも会場にもなんと四方向に頭をさげ何事もなかったように打席に向かいました。少なからず何としても塁に出たい選手がいる中、真実と信念貫いた。次の投球に対してフルスイング！その打球はレフトスタンドに飛び込みます。「ホームラン！」この映像は、「神様が見ていた」というタイトルで繰り返し再生されています。

3. P40以降関東・中国・北陸・東北地区大会報告

4つの地区が同時に掲載され見比べてみると、大会のやり方、地域の特性や課題、取り組むニュースポーツ他色々なものが見えてきました。地域の課題や特性を生かした地区大会であってよいと思います。新たな視点他が参考になります。

今月号では3つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことのできることから始めて（行動）みませんか？

* 本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがあるように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合とこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上